

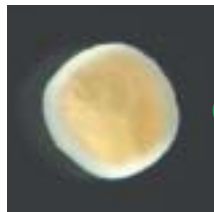
## ウンバチイソギンチャク

- 直径10~20cmのイソギンチャクで、とても強い毒をもっています。イノー(礁池)でみかけます。潮干狩りやシュノーケリング中などに気づかずに刺されることがあります。症状が長びいたり、腎臓じんぞうなどが悪くなる場合もあるので、刺された場合は必ず病院でみてもらいましょう。

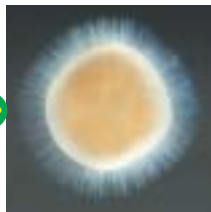


表面をよく見ると、刺胞がたくさんつまった刺胞球(1~2mm)があります。

岩にくっついている海藻と見まちがえることがあります。



しほうきゅう  
刺胞球(未発射)



刺胞球(発射後)



刺傷例

## フサウンバチイソギンチャク

- 糸満市の大度海岸おおどで見つかったイソギンチャクです。うすいはだ色で、人の指くらいの突起がたくさん伸びています。指のような突起には刺胞球がたくさんあります。



## カツオノエボシ

- 外洋性のクラゲで、風の強い日に岸に打ちよせられることがあります。青い浮きぶくろ(気胞体)で水面に浮き、その下面には数本の長い触手がたれ下がっています。



海水で刺胞球や触手をあらい流し、氷や冷水で冷やす。※酢は絶対に使わないで下さい。